

第124回

町田市薬剤師会

学術講演会

【日時】 2024年1月25日(木) 19:30~21:00

【会場】 ぽっぽ町田 地下1階 会議室2

VR 認知症体験会 ～認知症を“体験”する～

目的：体験を通して認知症を取り巻く課題を当事者視点で考える

講師：株式会社シルバーウッド

※プログラム裏面参照

申込締切 : 2024年1月19日(金) (※先着30名)

申込方法 : メール文のGoogleフォームおよび左記の二次元コードよりお申込み下さい。
→申し込み受付後、自動返信により完了メールが配信されます。



「machiyaku.dap@gmail.com」より受信出来るよう設定して下さい。
申込確認メールが返信されない場合は、ご入力いただいたメールアドレスに誤りがある可能性がありますので、事務局までご連絡下さい。

受講料 : 町薬会員・学生：無料 / 会員外 : 1,500円 (銀行振込)

【振込口座】 みずほ銀行 町田支店 普通 3075586

一般社団法人町田市薬剤師会 入金用 ※支払い期限：2024年1月21日(日)

- ◆ 当研修会は東京都薬剤師会の1単位として承認されています。
- ◆ ご提出いただいた個人情報は、講演会の出席者との連絡のために使用致します。

連絡先 : 一般社団法人 町田市薬剤師会
TEL : 042-708-9181 / Mail : info@machiyaku.jp

共催 : 株式会社シルバーウッド

VR 認知症体験会

株式会社シルバーウッド

■目的：

- 体験を通して認知症を取り巻く課題を当事者視点で考えることができるようになる。
- 認知症になっても幸せに暮らせる社会にするために、参加者自身がどのように行動するべきかを言語化できるようになる。

■所要時間：90分

項目	時間	展開	意図
導入	15分	① 全体の流れの説明 ② チェックイン 認知症に対するイメージなど ③ ワークの全体共有と体験への導入	体験前に「認知症に対するイメージ」を振り返ることで、体験後の学びや気づきにつなげる。
体験①	25分	① 体験「私をどうするのですか」 (視空間失認の症状体験、2分) ② グループディスカッション 本人の視点で感じたこと。 ③ 解説・補足 ④ グループディスカッション 自分だったらどうしてほしいか。 ⑤ 解説・補足	認知症がある方の『問題行動』とされるものには理由があることに気づく。
体験②	25分	① 体験「レビー小体病幻視編」 (幻視の症状体験、5分) ② グループディスカッション 本人の視点で感じたこと。 ③ 解説・補足 ④ グループディスカッション 自分だったらどうしてほしいか。 ⑤ 当事者インタビューの視聴 レビー小体型認知症当事者の樋口直美さんのインタビュー (5分) ⑥ 解説・補足	自分が幻視を見る体験を通じて、幻視が見える方の行動は、「おかしい行動」ではなく「幻視が見えることに対する正しい反応」であることに気づく。 当事者のメッセージから学びを得る。
体験③	20分	① 体験「ここはどこですか」 (見当識障害の症状体験、5分) ② グループディスカッション 本人の視点で感じたこと。 ③ 当事者インタビューの視聴 若年性アルツハイマー型認知症当事者の丹野智文さんのインタビュー (2分) ④ 解説・補足	症状だけを見るのではなく、その症状がある方の気持ちを想像する力につなげる。 体験と参加者自身の過去の困りごとをリンクさせることにより「認知症がある方」と「自分」との線引きを取っ払う。 当事者のメッセージから学びを得る。
まとめ	5分	① まとめ	

※ 進行状況により、タイムスケジュールは多少前後します。